

謹賀新年



本年も第7師団を宜しくお願いいたします

風不死岳



発行所
北海道自衛隊退職者
雇用協議会
千歳支部

問い合わせ先
第7師団
広報・渉外班
0123-23-5131
(内線 2247)
<https://www.mod.go.jp/gsd/nae/7d/index.html>

師団長統率方針
任務の完遂
師団長要望事項
1 一隅を照らせ
2 目標は高く、
努力を惜しまず

新年のご挨拶

第七師団長 陸将 武田 敏裕



新年明けましておめでとうございます。隊員並びにご家族の皆様、そして日頃から第七師団にご支援とご協力を賜っております自治体、関係諸団体並びに地域の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、国際社会は、米中の戦略競争を軸とした国家間の分断が加速・継続し、国際的枠組みによる世界秩序の維持が困難になるなか、インド太平洋地域は様々な安全保障上の課題が存在しています。我が国周辺においても、いつ、何が起きてもおかしくない戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面し、ウクライナ侵略と同様の深刻な事態が、将来発生しうる状況であり、「今日のウクライナは明日の東アジアかもしれない」との強い危機感を持ち、現在・将来ともこのような事態を引き起こさないためにも、抑止・対処態勢の保持、防衛力の抜本的強化の推進は急務となっております。

このような中、二〇二二年十二月に閣議決定された国家安全保障戦略などの「三文書」に示された防衛力の抜本的整備は四年目を迎えますが、政府は令和八年度（二〇二六年内）の同文書改定を目指しており、省としても防衛力の変革に係る各種検討を開始する一方で、陸上自衛隊に対する期待は、より一層高まっております。

私ども第七師団は、陸上自衛隊唯一の機甲師団、かつ戦略的に運用される師団として、北海道の防衛警備任務及び北海道外における所命の任務を完遂しうよう、訓練を重ね、今戦える師団への進化と新生機甲師団の創造に向けた取組を更に推進してまいります。

結びに、新しい年を迎え、我が国の平和と郷土の安寧のため、如何なる任務にも即動して任務を完遂することをお誓い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

新年のご挨拶

第七師団の准曹士の皆さん、ご家族の皆様、諸先輩方の皆様、そして関係諸団体の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆々様には平素より並々ならぬ、ご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げますとともに、本年が皆様にとって、とても心豊かな一年でありますようご祈念申し上げます。



最先任上級曹長
准陸尉 渡邊 欣浩



昨今の世界情勢は依然として不安定であり、我が国の安全保障環境は、一層厳しさを増しております。このような状況下において、第七師団に課せられた責務は、益々重大なものとなっております。不安定な世界情勢の中、第七師団が真に「今戦える師団への進化」し、「新生機甲師団の創造」をしていくための、極めて重要な節目の年となります。准曹士のトップとして、私は全准曹士が欣快の念をもって、任務に邁進できるよう、現場の声に真摯に向き合い、強靱で統率のとれた組織づくりに努めてまいります。また、隊員が安心して任務に専念できるのは、日頃より、寄り添い支えてくださるご家族の存在があつてのことです。ここに改めて深く敬意と感謝を申し上げます。隊員一人ひとりの幸せが確保されてこそ、第七師団全体の士気と強さは揺るぎないものとなります。

本年も、第七師団最先任上級曹長スローガンである「男女共に筋の通ったかつこい准曹士団であれ」を胸に、互いに研鑽し、互いに支え合い、真に信頼される准曹士団を築いてまいります。

結びに、本年も皆様方から益々のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が、皆様にとって飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。



自衛隊協力四団体 年頭のご挨拶

道央地区自衛隊協力会連合会

会長 横田 隆一



新年おめでとうございます。令和八年の新春を、第七師団の皆様とともに迎えてまいります。心からお慶び申し上げます。旧年中は、警備地区内八市十八町における防災訓練や各種行事への参加協力など、多大なるご支援を賜りましたことに、会員一同心から厚く御礼申し上げます。また、第七師団の皆様は、陸上自衛隊唯一の機甲師団として、日々訓練に精励されており、我が国の平和と安定のため、ご尽力いただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

さて、北海道に所在いたします自衛隊は、約七十年余の長い歴史の中、北の守りは無論のこと、国際平和協力活動など全国の自衛隊に先駆けて任務を果たしてこられました。また、近年多発する自然災害への災害派遣支援活動など、地域の安全・安心確保の面からも非常に重要な役割を担っていただいておりますことに感謝申し上げます。

一方、国際情勢に目を向けますと、ロシアの北方領土における軍事演習や軍の近代化、北朝鮮の核・ミサイル能力の増強の取り組み、中国による我が国周辺での活動拡大・活発化など、我が国を取り巻く安全保障環境は依然として不安定な状態にあります。

このような状況を踏まえ、高市内閣においては、本年中に戦略三文書の改定を行うと表明されていることから、私たちは、自衛隊における北海道の重要性や役割について改めて訴えるとともに、国民の期待の下、任務に従事される隊員の皆様をお支えするために、これまで築き上げてきました第七師団をはじめとする自衛隊との絆と連携を発揮しながら、地域と自衛隊との共存共栄に取り組みでまいりますので、我が国及び国際社会の平和と安定のため、引き続き、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい政権になり、自衛隊に係わる者達にとつて、安全保障政策、隊員処遇、防衛産業あるいは法制等々に関し何かと希望が膨らんでくるような機会に、一歩でも二歩でも是非とも前進していただきたいと心から願っております。が、一方では戦後最悪といわれる我が国を取り巻く安全保障環境への対応の進展やウクライナ、ロシア間の紛争等を教訓とする新しい時代の戦い方への適応に加え、熊対策を含む各種災害・民生支援への対応等、自衛隊に対するより現実的・多角的な要求が強まってくるようになるのかもしれない。そうならば、折から隊員不足の時代に突入しており、自衛隊への期待が高まる一方で現職の皆さんへの負担は増すばかりとお察しする次第です。そんな中、隊友会としては、従来の各種訓練・行事支援に加えて、特に隊員募集支援・大規模災害発生時における家族支援・アウトソーシングへの積極的参加による後方業務への支援に力を入れており、そうすることにより現職の皆さんの苦勞を少しでも軽減できたいと思っております。会活動を活発に行っていくためには退職者の皆さんに奮って隊友会に入会

したいと思っております。今年も自衛隊の充実発展のため、部隊のため、地域のために微力ながらも尽くしてまいります所存ですのでどうぞよろしく御礼申し上げます。

公益社団法人 自衛隊家族会 道央自衛隊家族会

会長 日川 敏行



第七師団の皆様、新年あけましておめでとうございます。あわせて隊員ご家族の皆様にも謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、道央自衛隊家族会に対し格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この年末年始は、隊員の皆様もご両親や兄弟姉妹、親しい方々と新年を喜び鋭気を養われたことと存じ上げます。

初めの女性総理大臣となり強い日本国を作ろうと努力しておられる姿がみられ国防政策にも力が入っております。今春には武器輸出に関する閣議決定が改正されると我が国経済にも好影響が見込まれます。

一方、世界に目を向けると軍事大国指導者のエゴむき出しの自国ファースト政策により混沌とした世界情勢が続くと予想されるうえ、地域紛争や地球温暖化問題は益々深刻となり世界各國へ多種多様なしわ寄せが懸念される年と予想されます。

我々、公益社団法人自衛隊家族会は「隊員に最も身近な存在」である協力団体として、本年も自衛隊法の改正提言はもとより皆様の勤務環境、住環境、装備面、給与・手当面の改善が更に進むよう積極的に提言を行うとともに、募集人員不足を少しでも緩和

和できるよう引き続き入隊希望者の発掘と情報提供に力を入れて行くとともに皆様の各種活動と家族支援に力を入れて行く所存でございます。

「強兵あるところ国、民安からなり」です。今後も武田師団長の指揮統率のもと一丸となつて部隊の精強化に励まれる事を期待しております。

北海道自衛隊退職者雇用協議会 室蘭支部

支部長 篠原 光範



新年あけましておめでとうございます。第七師団の隊員並びにご家族の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は北海道自衛隊退職者雇用協議会室蘭支部に対しまして格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和七年を振り返りますと、国際情勢は依然として不安定であり、わが国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増しております。周辺諸国による軍事的活動の活発化や、新たな脅威への対応が求められる中、自衛隊の果たすべき役割はますます重要になっていきます。こうした情勢の中、“北の守人”たる第七師団は創隊七十周年という節目の年を迎えられました。長きにわたり寒冷地という特殊な環境で練磨を重ね、あらゆる事態に即応できる精強な部隊として我が国の防衛を担ってこられたその歩みは、まさに我が国の安全保障の象徴であります。

加えて、第七師団は防衛のみならず、災害派遣や地域支援、各種行事への協力などを通じ、地域社会と深く結びついて活動されていきます。その献身的な姿勢は、住民に大きな安心を与えております。厳しい任務の中に

公益社団法人 隊友会 千歳地方隊友会

会長 菊池 伯



新年おめでとうございます。新しい政権になり、自衛隊に係わる者達にとつて、安全保障政策、隊員処遇、防衛産業あるいは法制等々に関し何かと希望が膨らんでくるような機会に、一歩でも二歩でも是非とも前進していただきたいと心から願っております。が、一方では戦後最悪といわれる我が国を取り巻く安全保障環境への対応の進展やウクライナ、ロシア間の紛争等を教訓とする新しい時代の戦い方への適応に加え、熊対策を含む各種災害・民生支援への対応等、自衛隊に対するより現実的・多角的な要求が強まってくるようになるのかもしれない。そうならば、折から隊員不足の時代に突入しており、自衛隊への期待が高まる一方で現職の皆さんへの負担は増すばかりとお察しする次第です。そんな中、隊友会としては、従来の各種訓練・行事支援に加えて、特に隊員募集支援・大規模災害発生時における家族支援・アウトソーシングへの積極的参加による後方業務への支援に力を入れており、そうすることにより現職の皆さんの苦勞を少しでも軽減できたいと思っております。会活動を活発に行っていくためには退職者の皆さんに奮って隊友会に入会

したいと思っております。今年も自衛隊の充実発展のため、部隊のため、地域のために微力ながらも尽くしてまいります所存ですのでどうぞよろしく御礼申し上げます。

も誇りを持ち、黙々と職責を果たす隊員の皆様の姿勢は、まさに“北の守人”の名にふさわしいものと存じます。これまで積み重ねてこられた努力と信頼は、七十年という歴史に新たな価値を刻み、これからの時代に確かな道標を残すものです。



謹んで新春のお慶びを申し上げます



第71戦車連隊長

1等陸佐 川畑 竜児

新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに希望に満ちた新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、旧年中は鉄牛連隊に格別のご厚情を賜り改めて厚く御礼申し上げます。

本年も、我が鉄牛連隊は部隊精強화에努め、如何なる任務も遂行し得るよう、連隊一丸となって一層邁進して行く所存です。

引き続き変わらぬご支援、ご厚情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



第11普通科連隊長

1等陸佐 太田 光

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、第11普通科連隊に対して格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も我が国唯一の機械化連隊として、あらゆる訓練に励むと共に、国防をつかさどる主力部隊として、地域を守る大きな力として、如何なる任務も即応、完遂する所存です。

本年も第11普通科連隊に対する変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第73戦車連隊長

1等陸佐 田近 敬

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は勝兜連隊に対する各別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和7年は、隊区である苫小牧市及び白老町の皆様のご理解とご協力により各種イベント等を通じて連携を深めることができました。また、駐屯する恵庭市の皆様にも様々な形でお世話になりました。本年3月、勝兜連隊は創隊45周年を迎えます。

引き続き、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって幸多い年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



第72戦車連隊長

1等陸佐 烏賊弘二郎

新年明けましておめでとうございます。

旧年の白馬連隊に対する格別のご厚情に対して改めて御礼申し上げます。

本年も地域の皆様の期待に応えるべく、あらゆる任務に即応し完遂してまいります。

白馬戦士が一丸となり、積雪寒冷地に所在する戦車部隊としての戦技を磨くとともに、現代戦の様相に対応すべく進取果敢に隊務を遂行してまいりますので、これまでと変わらぬご声援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



第7高射特科連隊長

1等陸佐 武原 充

新年あけましておめでとうございます。喜びに溢れる良い年になりますよう、心からご祈念申し上げます。

旧年中は、高射特科連隊に格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。本年も新たな事に積極的に取り組み、「団結・進化・信頼」をもって連隊一丸となって隊務にあたり、錬磨精進していきます。

また、日高地方に所在する唯一の静内駐屯地として、引き続き地域の皆さまと共に歩めるよう、駐屯地隊員一同努力していく所存です。本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第7特科連隊長

1等陸佐 西崎 心

あけましておめでとうございます。

旧年中に賜りました格別のご厚情に対し厚く御礼申し上げます。おかげさまでもちまして、昨年、無事創隊70周年を迎えることができました。

本年からも変わらず、機甲師団火力戦闘の骨幹部隊として、第7特科連隊一丸となって隊務に邁進し、今戦って勝てる、将来に亘っても勝てる部隊・隊員の育成に励んでまいります。

皆様には変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年1年のご健康とご多幸をお祈りいたします。



第7施設大隊長

2等陸佐 關 雅文

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、第7施設大隊に対して格別のご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年1月で創隊70周年を迎えます。

「将来にわたって戦って勝てる」施設大隊を確立することを目指し、物心両面にわたる即応態勢を保持しつつ、大隊一丸となって日々の隊務に澁刺と邁進する所存です。

本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第7後方支援連隊長

1等陸佐 小島 茂

新年明けましておめでとうございます。

平素から、第7後方支援連隊への格別のご厚情に対し、厚く御礼申し上げます。昨年は、連隊創隊45周年記念行事に始まり、第2次師団訓練検閲を受閲する走り抜けた年になりました。

新年におきましては、連隊の伝統である「真心・匠・絆」の精神を継承しつつ、隊員共々、更なる「強靱な後方支援連隊」を目指し、一層精進する所存であります。

本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第7偵察隊長

2等陸佐 加賀谷 岳彦

新年明けましておめでとうございます。

平素から、第7偵察隊へのご支援、ご協力を賜っている皆様、隊員ご家族の皆様には、謹んで新年の祝詞を申し上げます。また、旧年中に賜りました格別のご厚情に対し厚く御礼申し上げます。

本年も、唯一無二の機甲偵察隊として、任務を完遂し得る精強かつ健全な部隊を、隊員一丸となり作り上げる所存ですので、これまでと変わらぬご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。



第7通信大隊長

2等陸佐 別府 英幸

新年あけましておめでとうございます。

皆様には健やかな初春をお迎えされたこととお慶び申し上げます。旧年中に賜りました格別のご厚情に対し厚くお礼申し上げます。

本年も、機甲師団の指揮通信を担う通信大隊としての使命と誇りを堅持し、各種任務に即応し完遂すべく、部隊一丸となって任務を邁進する所存であります。

引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



第7化学防護隊長

3等陸佐 篠原 智也

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は第7化学防護隊に対して格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

機甲師団の対特殊武器戦専門部隊として、あらゆるCBRN事態に即応して使命完遂できるよう、日々努力を重ねながら隊一丸となって精強に邁進していく所存です。

本年もこれまでと変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



第7飛行隊長

2等陸佐 樫尾 信宏

新年明けましておめでとうございます。

旧年中に賜りました第7飛行隊への格別のご厚情に対し、厚く御礼申し上げます。

本年も機甲師団の飛行部隊としての誇りを堅持し、あらゆる事態に即応し任務を完遂できるよう、隊員一丸となって精進して参る所存です。

引き続き、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



第7音楽隊長

1等陸尉 遠藤 敬

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は第7音楽隊に対して格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も機甲師団の音楽科部隊として、隊員の士気高揚に努めるとともに、地域の皆様喜んでいただけるよう、隊員一丸となって音楽隊の使命を果たして参る所存であります。

本年も第7音楽隊に対する変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第7師団司令部付隊長

3等陸佐 棚瀬 勝重

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別なるご指導・ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

付隊は、本年も「思いやり」の気持ちを忘れることなく、師団隷下各部隊の皆様と積極的な協調を図りながら、師団司令部の円滑な隊務運営に寄与するとともに任務を完遂する部隊の育成に一丸となって邁進する所存でありますので、末永くご支援・ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



防衛大臣感謝状

北海道自衛隊退職者雇用協議会 千歳支部 顧問 瀧澤 順久 氏

陸上幕僚長感謝状

壮瞥町自衛隊協力会 会長 中山 雄三 氏

北部方面総監感謝状

むかわ町自衛隊協力会 会長 竹中 喜之氏 千歳地方隊友会 苦小牧支部 顧問 工藤 敏生 氏 千歳地方隊友会 千歳支部 副支部長 越智 通有 氏

師団長感謝状

夕張市自衛隊協力会 顧問(夕張市長) 厚谷 司 氏 洞爺湖町自衛隊協力会 顧問(洞爺湖町長) 下道 英明 氏 新ひだか町自衛隊協力会 会長 伊藤 重廣 氏 令和五・六年度師団オピニオンリーダー 豊浦町自衛隊協力会 副会長 河合 旬 氏 夕張市自衛隊婦人協力会 会長 杉山 任子 氏 第七後方支援連隊後援会 副会長 鈴木 英範 氏 道央自衛隊家族会 門別支部 支部長 鈴木 正志 氏 千歳地方隊友会 白老支部 副支部長 中山 博 氏 道央自衛隊家族会 登別支部 事務局長 生田目 通久 氏 安平町自衛隊協力会 副会長 箱崎 英輔 氏 道央自衛隊家族会 安平支部 支部長 箱崎 英輔 氏 第七化学防護隊協力会 会長 湊 修一 氏 道央自衛隊家族会 副会長 山崎 昌則 氏 道央自衛隊家族会 千歳支部 支部長 山崎 昌則 氏

個人功労

元第七師団司令部 元二等陸佐 高橋 亘 氏 元第七十三戦車連隊 元二等陸尉 春井 英貴 氏 元第七特科連隊 元三等陸佐 起田 淳 氏 元第七特科連隊 元三等陸佐 富安 賢次郎 氏 元第七特科連隊 元三等陸佐 福田 正人 氏 元第七特科連隊 元一等陸尉 木村 武志 氏 元第七施設大隊 元一等陸尉 岡田 昭英 氏 元第七施設大隊 元二等陸尉 橋本 定郎 氏 元第十一普通科連隊 元三等陸尉 葛西 一晃 氏 元第十一普通科連隊 元三等陸尉 小松 均 氏 元第十一普通科連隊 元三等陸尉 中村 明生 氏 元第十一普通科連隊 元三等陸尉 飯塚 昌一 氏 元第七十一戦車連隊 元三等陸尉 石井 貢 氏 元第七十一戦車連隊 元三等陸尉 鈴木 豊 氏 元第七十三戦車連隊 元三等陸尉 渡辺 廣 氏 元第七十三戦車連隊 元三等陸尉 金田 裕一 氏 元第七特科連隊 元三等陸尉 戸井 修 氏 元第七高射特科連隊 元三等陸尉 佐藤 俊明 氏 元第七後方支援連隊 元三等陸尉 太田 黎一 氏 元第七後方支援連隊 元三等陸尉 佐藤 吉彦 氏 元第七施設大隊 元三等陸尉 須藤 明典 氏 元第七通信大隊 元三等陸尉 田上 良二 氏 元第七通信大隊 元三等陸尉 橋本 富士夫 氏 元第七偵察隊 元准陸尉 稲垣 正進 氏 元第七化学防護隊 元三等陸尉 吉田 豊 氏 元第七音楽隊 元三等陸尉 永野 一也 氏 元第七音楽隊 元三等陸尉 山下 曜一 氏

瑞宝章

元第十一普通科連隊 元三等陸尉 葛西 一晃 氏 元第十一普通科連隊 元三等陸尉 小松 均 氏 元第十一普通科連隊 元三等陸尉 中村 明生 氏 元第十一普通科連隊 元三等陸尉 飯塚 昌一 氏 元第七十一戦車連隊 元三等陸尉 石井 貢 氏 元第七十一戦車連隊 元三等陸尉 鈴木 豊 氏 元第七十三戦車連隊 元三等陸尉 渡辺 廣 氏 元第七十三戦車連隊 元三等陸尉 金田 裕一 氏 元第七特科連隊 元三等陸尉 戸井 修 氏 元第七高射特科連隊 元三等陸尉 佐藤 俊明 氏 元第七後方支援連隊 元三等陸尉 太田 黎一 氏 元第七後方支援連隊 元三等陸尉 佐藤 吉彦 氏 元第七施設大隊 元三等陸尉 須藤 明典 氏 元第七通信大隊 元三等陸尉 田上 良二 氏 元第七通信大隊 元三等陸尉 橋本 富士夫 氏 元第七偵察隊 元准陸尉 稲垣 正進 氏 元第七化学防護隊 元三等陸尉 吉田 豊 氏 元第七音楽隊 元三等陸尉 永野 一也 氏 元第七音楽隊 元三等陸尉 山下 曜一 氏

十二月 定年退官者

【第十一普通科連隊】 曹長 浅野 克彦 十月二十六日付 曹長 二之形 智 十一月一日付 曹長 市川 英一 十二月二十七日付 曹長 高橋 豊 十月四日付 【第七十二戦車連隊】 曹長 吉本 泰展 十月十三日付 曹長 安部 王典 十二月四日付 曹長 倉元 雅樹 十二月十五日付 【第七十三戦車連隊】 二尉 村山 誠 十一月六日付 曹長 藤本 豊弘 十月三日付 曹長 香川 忍 十月十五日付 曹長 阿部 秀之 十月十八日付 曹長 工藤 正文 十月三十一日付 【第七特科連隊】 三佐 酒井 忠司 十二月八日付 准尉 郷原 哲夫 十月二十二日付 准尉 外瀬 勉 十一月一日付 【第七後方支援連隊】 准尉 長尾 真司 十一月一日付 曹長 小野 浩浩 十一月二十九日付 曹長 村上 広光 十月七日付 曹長 村上 浩司 十一月二十五日付 曹長 武部 和久 十月一日付 【第七施設大隊】 准尉 石田 孝博 十一月二十七日付 准尉 大島 隆行 十一月二十九日付 曹長 都築 友一 十二月十日付 曹長 山中 輝明 十二月十七日付 【第七飛行隊】 二曹 中井 紀彦 十二月二十九日付 【第七師団司令部】 一尉 芝 淳一郎 二月十六日付 【第十一普通科連隊】 准尉 森田 庄太郎 二月十一日付 曹長 池間 克典 一月十一日付 曹長 中村 好洋 三月二十三日付 【第七十一戦車連隊】 曹長 井内 貴久 二月十八日付 曹長 藤原 卓 三月七日付 曹長 山本 秀樹 三月十五日付 【第七十二戦車連隊】 一尉 金田 慶昌 一月十八日付 准尉 船水 徹 一月十九日付 曹長 小澤 勝己 三月二日付 曹長 館下 修 二月十七日付 【第七十三戦車連隊】 二佐 加藤 忠幸 一月二十六日付 准尉 吉田 博光 三月五日付 曹長 安藤 敏和 二月一日付 曹長 池田 崇 三月十五日付 【第七特科連隊】 准尉 佐藤 智功 一月十三日付 曹長 森本 曜展 二月六日付 曹長 米川 曜展 二月十五日付

防衛省 団体傷害保険 (総合賠償型・親介護補償型(特約)オプション) (団体長期障害所得補償保険「長期所得安心くん」略称:GLTD) 防衛省 退職後 団体傷害保険 防衛省 共済組合 がん保険 (お見積・資料請求 http://webby.afac.co.jp/boueii/) 防衛省 共済組合 火災保険 ☆その他各種の損害保険 【取扱代理店】 弘済企業株式会社 TEL: (03) 3226-5812 詳しくは、第7師団各駐屯地の 弘済企業保険常駐員にご相談下さい。

BIJIKO TOURS 美自校ツアーズ 新婚旅行・退官記念旅行・厚生旅行などのご用命は 美自校ツアーズへ! 株式会社自動車学校 美自校観光バス 千歳支店 千歳市千代田町6丁目20番地 第12ふじやビル2階 TEL: 0123-25-5111 / FAX: 0123-25-5211 営業時間: 平日 09:00-18:00 土日祝日休業

永年の勤務、大変お疲れ様でした。 曹長 村上 誉利 三月三日付 曹長 村井 伸行 二月二十五日付 曹長 木原 教新 二月一日付 曹長 塩山 正幸 二月十七日付 曹長 迎田 芳範 二月十七日付 曹長 正田 吉秀 三月九日付 曹長 松村 浩二 三月二十四日付 【第七高射特科連隊】 准尉 山下 泰治 一月二十五日付 准尉 長里 廣京 一月二十六日付 【第七後方支援連隊】 三佐 野田 哲也 一月十九日付 二尉 越田 康敬 一月三日付 曹長 飯田 康生 一月十日付 曹長 梅田 孝幸 二月十三日付 曹長 瀬木 勝浩 三月二十日付 曹長 松野 護 三月二十一日付 曹長 岡村 芳憲 一月六日付 曹長 細川 博之 三月二十一日付 【第七通信大隊】 一曹 菊地 謙司 一月三十一日付 一曹 中澤 米次 一月三十一日付 【第七化学防護隊】 曹長 佐々木 康則 一月一日付 【第七師団司令部付隊】 二尉 竹内 晴彦 一月二十三日付 曹長 松本 晃一 一月三日付

はなの舞 東千歳駐屯地店 内線 4585

いがらし理容院 千歳市幸町一丁目十番地 TEL: (0123) 233724 内線 4569

ヤマザキ Yamazaki ヤマザキ ショップ 飲料・酒・訓練用品・タバコ (有)シミズ TEL: (0123) 223275 内線 4568

東厚生センター 弁当・ホットスナック・菓子 カップ麺・文具・日用品・お土産 有限会社 ティーウェイ コーポレーション TEL: 0123-40-2531 内線 4563

令和7年度 方面隊戦車射撃競技会

第七師団（師団長 武田陸将）は、令和七年十一月二十五日（月）から三十日（日）までの間、北海道大演習場島松地区（第一戦車射場）において、陸上自衛隊最大規模の戦車射撃競技会である令和7年度方面隊戦車射撃競技会を担任した。

今年度は、第七師団から第七十一・七十二・七十三戦車連隊及び第七偵察隊の二十五コ小隊、第二師団から八コ小隊、第五旅団及び第十一旅団の各二コ小隊に加えて、西部方面戦車隊から初めて二コ小隊の合計三十八コ小隊（九〇式戦車二十五コ小隊、一〇式戦車十三コ小隊）が参加し、各部隊が優勝を目指してしのぎを削った。

本競技会は、戦車四両による小隊戦闘射撃を課目として、第一状況（車体を遮蔽した状態で射撃する稜線射撃及び移動する目標を射撃する横行行進射撃）、第二状況（四両が一斉に躍進して射撃する躍進射撃）、第三状況（機関銃による後退行進射撃及び後退停止直後の射撃）、第四状況（ハッチを閉鎖した状態で射撃する行進射撃）を一連に行い、一〇式戦車及び九〇式戦車を区分することなく同一の要領により実施した。

さらに本年度は、高難度であったこれまでの競技要領に加え、標的を目視では発見が困難な色彩に変更し、「発見・識別が困難」な標的を採用するとともに全標的に熱源を付加して、競技会においても実戦同様にIR（熱線映像装置）等の各種装置を駆使して敵を捕捉し、撃破しうる実際の・実戦的な射撃要領を演練できる場を設定した。

各部隊は練成の成果を存分に発揮し、部隊対抗の部においては第二戦車連隊、中隊対抗の部においては第七十三戦車連隊第三戦車中隊、小隊対抗の部においては第七十二戦車連隊第三戦車中隊第一小隊がそれぞれ優勝を勝ち取った。また、戦車直接支援部隊の部として、部隊対抗の部で優勝した第二戦車連隊を支援した第二後方支援連隊第二整備大隊戦車直接支援中隊が表彰された。

また競技間、近隣自治体、協力団体、防衛関連企業、募集対象者等から多数研修に参加いただき、戦車射撃の迫力と優勝に向かってひたむきに競技に臨む隊員の姿を直接確認いただいた。

第七師団は引き続き、いかなる任務をも完遂し得る陸上自衛隊唯一の機甲師団として、武田師団長を核とし、「今戦える師団への進化」及び「新生機甲師団の創造」を旗印にかかげ、更なる高みを目指して日々練成に邁進していく。

競技会 結果	
【部隊対抗の部】	
第1位	第2戦車連隊
第2位	第72戦車連隊
【中隊対抗の部】	
第1位	第73戦車連隊 第3戦車中隊
第2位	第2戦車連隊 第3戦車中隊
【小隊対抗の部】	
第1位	第72戦車連隊 第3戦車中隊 第1小隊
第2位	第73戦車連隊 第3戦車中隊 第1小隊
第3位	第2戦車連隊 第3戦車中隊 第1小隊
【戦車直接支援中隊の部】	
第1位	第2後方支援連隊 第2整備大隊 戦車直接支援中隊
第2位	第7後方支援連隊 第2整備大隊 第2戦車直接支援中隊



稜線射撃



横行行進射撃



部隊の応援のもと競技に臨む小隊



弾薬の積載



競技を終え温かく迎えられる小隊



ハッチ閉鎖状態における直行行進射撃



後退停止直後の射撃



躍進射撃



近隣自治体及び協力団体等の方々の研修



射場路の整備をする銃裁部勤務員



監視の交換作業をする銃裁部勤務員



標的への着弾を確認する銃裁部勤務員



小隊対抗の部優勝小隊（第72戦車連隊第3戦車中隊第1小隊）



中隊対抗の部優勝中隊（第73戦車連隊第3戦車中隊）



総監からベストプラトゥーンキャップを被せてもらう隊員



装備品展示

防衛省共済組合 陸上自衛隊北部方面隊
の隊員のみなさまへおすすめです！

提携社員ローン
貴隊のみなさま向けに特別金利をご用意いたしました！

くわしくはこちらから
WEB申込なら
24時間365日申込OK！

専用フリーダイヤルでのお申し込みもOK！
北洋銀行ローンコンタクトセンター
0120-094-599（受付時間 平日9:00~17:00）

千歳中央支店 千歳市千代田町3丁目11番地
TEL (0123) 23-3111

北洋銀行

Lawson STATION
駐屯地のほっとステーション
【防衛弘済会】
酒販売部共々宜しく
お願いします
内線 4565

日の出食堂
ラーメン・定食・各種宴会承ります。
TEL(0123)235681
内線 4566

博信堂
レコード・楽器・オーディオ・家庭電化製品
TEL(0123)233386
内線 4565

成田スポーツ
【東千歳駐屯地】
迅速さと親切をモットーに!!
恵庭市泉町 六二番地
TEL(0123)333770
TEL080-3525-5893
FAX(0123)333771
内線 4565

清報舎
真心こめて綺麗な仕上がり
縫い付け承ります
クリーニングの
TEL(0123)255224

クローバー
安心、速い、上手いをモットーに
TEL(0123)255224
内線 4567

北厚生センター

家族にも持て帰って見せよう

第2次 師団訓練検閲

第七師団(師団長 武田陸将)は、令和七年十月二日(木)から七日(火)までの間、矢野別演習場において令和七年度第二次師団訓練検閲を実施し、第七十二戦車連隊(連隊長 鳥賊一佐)、第七後方支援連隊(連隊長 小島一佐)、第七施設大隊(大隊長 關二佐)及び第七化学防護隊(隊長 大口二佐)の練度を検した。

訓練検閲に先立ち第七師団長は統裁官として、全部隊に対し「現代戦の様相を踏まえたレジリエンス・サステイメントに留意せよ」を要望した。第七十二戦車連隊は、師団の先遣戦車戦闘団として、警戒・偽装・分散・隠蔽等により我のレジリエンスを確保しつつ、精密な火力発揮による敵の滅殺、戦車を主体とした果敢な攻撃により、所定の時期までに師団の示す目標線に進出し、師団主力の後の作戦に寄与した。

第七後方支援連隊は、空地からの敵の脅威の中、レジリエンスを確保した師団段列を開隊するとともに、後方支援活動及び衛生活動を継続的に実施し、師団の作戦全般に寄与した。第七施設大隊は、師団の広大な作戦地域において、保有する施設力を効率的に発揮し、障害処理、機動路の整備、抗堪性ある指揮所施設を構築し、師団の攻撃進展に寄与した。

また、第七化学防護隊は、師団の第一線部隊及び師団段列に対する敵特殊武器攻撃に際し、作戦地域のMOPP(防護態勢)統制、戦況推移に基づく優先順位の設定とそれに応じた地域・車両等の除染活動を整齊・円滑に実施して敵の攻撃を無効化し、師団の安全を確保した。

今回の訓練検閲を通じ、数々の貴重な成果と教訓を得た第七師団は、いかなる任務をも完遂し得る陸上自衛隊唯一の機甲師団として、武田師団長を核心とし、「今戦える師団への進化」及び「新生機甲師団の創造」を目指し、引き続き実際の訓練を続けていく。



汚染された90式戦車の除染(第7化学防護隊)



抗堪性ある指揮所施設の構築(第7施設大隊)



負傷した隊員の治療(第7後方支援連隊)



索敵しながら前進する90式戦車(第72戦車連隊)

Medical Corporation HOKUYUKAI 北 楡 会. ファミリー歯科クリニック. 青葉公園歯科. 院長 小畑 彰. 院長 加藤 滋.

千歳第一ホテル. 歓迎宴会・退官パーティなど、各種宴会承ります. TEL.0123-27-2000.

自衛隊・関連団体の宴会のご用命はお気軽に. ANA CROWNE PLAZA. 千歳OB 若杉.

プロ集団の総合力。わたしたちがご案内します。ecoaHouse エコアハウス. 0120-018-935.

12COFFEE. 千歳で自家焙煎した、こだわり珈琲をご提供。カフェ「12COFFEE」. Follow us! QR code.

(公社)自衛隊家族会. 道央自衛隊家族会. 会長 日川敏行. 副会長 山崎昌則. 事務局 浅井敬次郎.

迎春 (公社)隊友会. 千歳地方隊友会. 会長 菊池伯. 副会長 寺澤博. 事務局 岡昭雄. 斗賀山信美.

第7師団 陸上自衛隊唯一の機甲師団. https://www.mod.go.jp/gsdf/nae/7d/. 第7師団 検索.

第7師団 SNSをフォローしよう! 第7師団が実施する訓練や行事の写真・動画を投稿しています。ぜひフォローを宜しくお願い致します。

部 隊 だ よ り

第七施設大隊



第七施設大隊は、令和七年十月二日（木）から七日（火）までの間、第二次師団訓練検閲に受閲部隊として参加した。本検閲は、大隊長（關二佐）を核心として、作戦機動から始まり、連日の気温差が一〇度以上の中、矢白別演習場で実施された。

成果を十分に発揮し、隊員個々の能力はもとより、部隊としての練度を着実に向上し、その成果を反映して、無事に大隊の任務を達成することができた。大隊は、引き続き、隊員一人ひとりの戦闘員としての能力及び更なる施設技術の向上を図り、機甲師団唯一の施設科として、第七師団を支え、真に戦える施設科を目指し邁進する。



構築中の師団退避壕



完成した師団退避壕



師団偽指揮所副師団長点検

第七化学防護隊



第七化学防護隊は、令和七年九月九日（火）車両操縦競技会を実施した。本競技会は、隊の操縦手要員の練度向上を図るとともに、車両操縦従事者の運行に関する意識の向上を目的として実施した。所定のコースを設定し、大型の部、牽引の部の二種目で、隊本部、偵察小隊及び除染小隊の選抜十二

個チームで競技を行い、どのチームも操縦手と車長が連携し、日頃の練成の成果を遺憾なく発揮し、優勝を懸けて競い合った。第七化学防護隊は引き続き、車両操縦の練度向上及び安全運行意識の向上に努めていく。



運行前点検の様子



大型の部



牽引の部

第七偵察隊



第七偵察隊は、令和七年十月二十日（月）から同年十二月五日（金）までの間、令和七年度陸士特技課程（偵察）を実施した。本課程は偵察隊員として必要不可欠な資質及び識能を修得させる重要な教育である。偵察隊は上級部隊指揮官の耳目となり、いかなる困難な状況に陥っても、

あらゆる手段を尽くしてその決心に資する情報資料を収集しなければならぬ。新隊員教育を修了して間もない若き隊員達は、直面する様々な困難に対して一致団結して克服する等、与えられた任務を完遂し、総合訓練終了に伴う帰還報告を、第七偵察隊長に対し実施した。



レーダーで敵情監視する隊員



帰還報告する学生長



任務完遂し無事帰還

第七師団司令部付隊



第七師団司令部付隊は、「今戦える師団への進化」と「新生機甲師団の創造」に向けた「七つの取組」について、司令部の検討を隊員へ周知し意識改革を図るとともに他師・旅団の司令部付隊の検閲支援やCCV操縦未経験の隊員への操縦訓練を実施するなど、付隊の任務達成に必要な取組みを推進中である。また、令和七年度第二次師団訓練検閲や令和七年度方面戦車射撃競技会を

始めとする各事業の支援任務を完遂し、師団の成果獲得に寄与した。さらに、令和七年十一月に営内者の完全個室化を完了するなど、隊員の生活勤務環境改善にも積極的に取組み職務意欲の向上を図った。今後も今できることからスピード感をもって更なる効率化・合理化を推進し、より高い目標に向けてまい進する部隊の練成に努める。



第3師団司令部付隊検閲 補助官支援



司令部勤務班へのCCV操縦訓練



携行食をポイルする管理小隊

車検・点検

お気軽にご相談ください

新車・中古車

カタログからお気軽どうぞ

■自衛隊員の皆様限定のサービスを用意しています。

車検・点検 割引	当店で初回車検時限定追加整備 20%OFF	当店で初回車検時 オイル交換 エレメント交換 無料	代車無料
-------------	--------------------------	------------------------------------	------

■オイル交換割引します！
軽自動車 ¥2,500 普通乗用 ¥3,000～



担当:三田 (自衛隊OB)



■携帯連絡先
090-6210-0881

(株)東京海上日動パートナーズ北海道 札幌支店 千歳支社

東京海上日動火災保険(株)代理店 東京海上日動あんしん生命保険(株)代理店
千歳市勇舞8丁目1-1 ちとせモール 2F

TEL: 0123-27-7775 FAX: 0123-27-7776

当社で活躍されている、OBメンバーです。お気軽にご相談下さい。

松本 敏男 (1特団)・山口 浩次 (1特団)・小山 輝幸 (北情保)
木下 誠一 (3施団)・栗城 高広 (11普連)・中村 義幸 (1特団)
・浦松 幸一 (7高連)

損害保険・生命保険のご用命は当社まで！

令和7年12月1日付 着任

統率方針

『使命の完遂』

要望事項

『前へ』



第13代 第7化学防護隊長
3等陸佐
しのはらともや
篠原 智也



令和7年12月9日付 着任

統率方針

『総力結集』

要望事項

『個の錬磨と融合』

『周到な準備と果敢な実行』

『相互の尊重と信頼』



第26代 第71戦車連隊長
1等陸佐
かわばたりゅうじ
川畑 竜児



新任任部隊長紹介

家族のささ之

「勝利の女神」

第十一普通科連隊

重迫撃砲中隊

三等陸曹 村山 孝平

皆さんには勝利の女神はいますか？

私には二人の女神がいます。

それは世界一愛する妻と娘です。

私は拳法訓練隊に所属しており、年間を通じて試合が多い時は十試合あり、時には遠方に長い期間で二週間以上家を空けることがあります。

不在間は家事・育児等全てのことを妻に任せてしまっています。

また、自衛隊の大会には階級別の試合があり、減量期に食事面の管理をしてもらったり妻には感謝が尽きない日々を送っています。

娘も大会等で家を空ける時は「行かないでー(泣)」と抱きついてきてくれ、寂しい思いを多々させてしまっています。

家を空けている間二人が家事や学校を頑張ってくれていることを思うと、試合で苦しい時も「戦っているのは自分一人ではない。」と自分を奮起させ、試合に勝つことができます。

そんな二人は僕の勝利の女神です！

いつもありがとう！

心の底から妻と娘を愛しています。



第73戦車連隊
第4戦車中隊
戦車陸曹(砲手)
いとうだいすけ
伊東 大輔
2等陸曹

先駆では毎号、陸上自衛隊唯一の機甲師団である第七師団を支える隊員を紹介していきます。
今回は、第七十三戦車連隊の戦車陸曹(砲手)として勤務している伊東二曹を紹介いたします。

イチ押し隊員

●伊東二曹に聞きました。
日頃は、どのようなお仕事をされていますか？
戦車陸曹として日々の訓練等を通じて、技術の練度向上に努めています。
特に戦車射撃には力を入れており、小隊長砲手として任務を完遂出来るよう日々精進しています。
お仕事をされる中でこだわっていることは何ですか？
技術の向上及び後輩の育成です。
小隊長砲手として、後輩の見本となるよう日々の射撃予習を通じて自己の砲手としての技能及び知識を磨き、それを伝える事です。
●中隊の隊員に聞きました。
伊東二曹は、どのような隊員ですか？
いつもニコニコしていて笑顔が絶えず、やる時はやる、やらない時はやらない、メリハリがありオンオフの切り替えが早いポジティブな性格の持ち主です。



▲奥が本人

【趣味】
カメラ写真撮影
(被写体は野鳥、動物、町のスナップ写真等)
【座右の銘】
「焦らず、腐らず、諦めず」
(苦手なことは誰しもあるけど、焦らず、腐らず、諦めず！そうすれば必ず成長できる！)

●伊東二曹より一言

人のために働く事が好きです。部隊のため、後輩のため、家族のため、これが私の原動力です。
これからも仕事も私生活も全力で頑張ります！

陸上自衛隊 隊員の皆さまへ

おうちの電気を **北ガスの電気** で賢くおトクに！

毎月の電気代、**3分でおトクに！**

25万件を超えるお客さまにご利用いただいております。

WEBからいつでも簡単にお申込みいただけます。

詳しくは
＜左のQRコードまたは「北ガスの電気」で検索＞

北ガスの電気

●お申込み・お問い合わせ先●
北海道ガス株式会社 千歳支店
千歳市清水町1丁目1-1
☎0123-26-8623 (平日9~17時)

装軌車両部品修理
(履帯・転輪・スプロケット他)

株式会社南里製作所

代表取締役 南里 和宏

〒252-1125 神奈川県綾瀬市吉岡東2-1-10
TEL 0467-76-3121 FAX 0467-76-3124